

2025 年 6 月 3 日

ー子どもたちの豊かな生活づくりのためにー
西日本シティ銀行における「フードドライブ活動」拠点の拡大について
～AIT ビルおよび NCB シーサイドビルでも活動開始！～

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、「フードドライブ活動※1」（以下「本活動」）拠点を拡大し、2025 年 7 月 1 日から、当行の本部の一部と西日本 FH グループ会社が入居する AIT ビルおよび NCB シーサイドビルでも本活動を開始しますので、お知らせします。

本活動は2021 年 8 月の筑紫地区での開始を皮切りに、これまで北九州地区、本部・本店営業部、筑豊地区、長崎県、筑後地区、鹿児島県と活動エリアを順次拡大し、累計で約 9 トンの食品を寄付してきました。AIT ビルおよび NCB シーサイドビルを加えると約 130 拠点での展開となります。

今回の二つのビルで集まった食品は、特定非営利活動法人フードバンク福岡※2（理事長 篠田 陽二、以下「フードバンク福岡」）を通じて、福岡県内の子ども食堂などを運営する子ども支援団体などに提供します。

当行は、今後も、地域の子どもたちの豊かな生活づくりを“継続”支援するために、本活動を他の地区や部署の役職員に順次展開し、地域の皆さまとともにサステナビリティへの取組みを推進してまいります。

- ※1 フードドライブ活動は、役職員が家庭などで使いきれない食品を集め、福祉団体やフードバンクなどを通じて、必要としている子どもたち等に食品を寄付する取組みです。
- ※2 「フードバンク福岡」は、2017 年度から本格的な活動を開始し、個人や企業から品質に問題ないにも関わらず使用できない食品を集める食品ロス削減の取組みおよび食品を必要とする人に無償で提供するフードバンク事業を行っています。

記

■ 本活動の概要

概 要	役職員が家庭で使いきれない食品を“フードボックス”に持ち寄り、<u>1 月・3 月・5 月・7 月・9 月・11 月の 2 か月に 1 度「フードバンク福岡」</u>を通じて、子ども食堂などを運営する子ども支援団体などに食品をお届けします。 (フードボックスのイメージ)  ＜対象食材＞ お米、缶詰、インスタント食品など未開封で賞味期限がお届け時に 1 か月以上残っている常温保存が可能な食品
実 施 者	AIT ビルおよび NCB シーサイドビルに勤務する役職員 (本部各部ほか、シティアスコム、西日本信用保証、九州債権回収)
開 始 時 期	2025 年 7 月 1 日 (火)〔初回食品提供 2025 年 7 月 18 日 (金)〕
達成を掲げる S D G s 項 目	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナースhipで目標を達成しよう

＜参考：西日本フィナンシャルホールディングスグループにおけるこれまでのフードドライブ活動の取組みについて＞

実施エリア	開始時期	実施店舗	連携団体	食材持込実績 2025年4月末時点
筑紫地区	2021年8月	西日本シティ銀行 筑紫地区10か店	チャイルドケアセンター	680.23kg
北九州地区	2021年12月	西日本シティ銀行 北九州地区38か店、3拠点	フードバンク北九州 ライフアゲイン	3,626.46kg
本店営業部・本部	2022年4月	西日本シティ銀行 本店営業部・本部各部	フードバンク福岡	2,129.30Kg
筑豊地区	2022年7月	西日本シティ銀行 筑豊地区10か店、1拠点	フードバンク飯塚	401.70kg
長崎県	2022年8月	西日本シティ銀行 長崎県内3か店 長崎銀行 長崎県内13か店、1拠点	フードバンク協和	650.40kg
筑後地区	2022年10月	西日本シティ銀行 筑後地区15か店、1拠点	フードバンクくるめ	554.00kg
鹿児島県	2023年9月	西日本シティ銀行鹿児島支店 他取引先3社	かごしまこども食堂 支援センター たくして	820.00kg
合 計				8,862.09kg

以 上

本件に関するお問い合わせ先
広報文化部 重松・植山 TEL 092-461-1869